

(一社)山梨県サッカー協会
各種別委員長
各種別技術委員長 殿

【2018年度A級・B級コーチ養成講習会受講者の選考方法について】

- ◇目的 近年両コーチ養成講習会における受講生のモラルと技術のレベル低下が目立っているなか、各県から推薦される受講生の資質向上が求められています。そこで、山梨県から両コースへ資質とより意識の高い受講生を送り込む為に、選考時よりサッカーの技術、理解度の高い指導者を精選することと、選考方法の透明性を図る為。
- ◇方法 B級 → JFA への最終申し込み締め切り・・・毎年3月末日前後（それから逆算して選考日程を決めていく）
A級 → 関東地域でトライアルを経て、そこで選考された者が、JFAの公認A級を受講することができる。よって、関東トライアルへ送る2名を1月31日までに報告するため、それまでに選考会を開き決定する。

《B級》割り当て人数 2人または3人（2017年度実績）

- <受講資格> (1) 2018年3月31日に満22歳以上である者。
(2) 公認C級コーチ（旧公認地域スポーツ指導員C級）の資格を有する者。
※旧公認地域スポーツ指導員C級の認定前でも共通科目終了証明書があれば可
※旧公認準指導員の方は、公認C級コーチへの移行手続きをしていないと受講できないため、今年度の受講資格はございません。
(3) 資格取得後、本県サッカー協会技術委員会の活動に協力できる者。
(4) 受講希望前、1年間以上の県T Cまたは地域TCに関わり活動した者。

- <選考順序> ①公募形式を採用【自己推薦】（締め切り1月31日）
所定の受講希望申し込み用紙に自己推薦・第三者推薦書を添えて、県技術委員長宛に提出する。
*1②各種別で選考をする。【種別推薦】（1月31日までに選考を行ない、報告する）
（*1選考方法は、種別に任せます。）
③指導実践（1回または2回） トレーニングとゲーム 2月中に行なう。
④面接 指導実践時または、県技術委員会時に行なう。
⑤決定 2月末日前後（優先順位をつける）

<選考委員>

JFA47FA チーフインストラクター YFA 指導者養成部会インストラクター7名
以上のインストラクターを中心として最終的に選考をしていく。

《A 級》 関東地域選考トライアル割り当て人数 2 人（関東地域トライアルは、3 月 11 日（日）開催）

<受講資格> (1) 公認B級コーチ資格を有し、公認B級コーチ養成講習会受講後 1 年以上の指導実績を有する者。

(2) 公認B級コーチ養成講習会受講時の成績を参考にする。

(3) 資格取得後、本県サッカー協会技術委員会に協力できる者。

(4) 受講希望前、1 年間以上の県 T C に関わり活動した者。

<選考順序> ①公募形式を採用【自己推薦】（締め切り 1 月 11 日）

所定の受講希望申し込み用紙に自己推薦・第 3 者推薦書を添えて、県技術委員長宛（各種別技術委員長経由でも OK）に提出する。

②指導実践（1 回または 2 回） 1）トレーニング 2）ゲーム形式

期日：1 月 14 日～29 日まで期間

③面接 指導実践時、または県技術委員会時に行なう。

④決定 1 月 31 日（優先順位をつける）

<選考委員>

皆川新一 JFA47FA チーフインストラクター YFA 指導者養成部会インストラクター 7 名

◇補足・重要

・受講希望者は、次年度の各コースの開催期間を、休みなく受講できるようにスケジュールの調整ができるように準備をしてください。

*1 各種別での選考は、受講希望者が山梨県割り当て人数以上の申し込みがあった場合に限りです。

*2 各種別での受講希望者の選考成績には、必ず優先順位をつけてください。

*3 各種別での受講希望者が 1 名のみであった場合は、選考の必要がありません。ただ、その希望者が当該種別の代表者となりますので、しっかりとした資質であることを見極めてください。また、各級定員数（A 級 1 または 2 人、B 級 3 人）のみの希望者数の場合は、受講可能な力があるかどうかの、指導実践、そして面接を行います。

*4 各種別の選考方法は、種別ごとに任せますが、指導力はもとより、サッカー競技としての技術があるかどうかを見極めてください。（正しいデモンストレーションができることと、本養成講習会での実技についていける技術を持っている。）

* JFA または関東サッカー協会の来年度指導者養成内容に変更があった場合は、上記の日程、内容の変更があることもご承知おきください。

以上（この案の提出と文責 指導者養成部会長 皆川新一）

以下、各コースの受講申し込み用紙添付あり